

展覧会「令和4年度 新収蔵品展」 開催結果について(報告)

【総括】豊田市美術館では作品の収集に際して、同一作家の時代や技法、表現が異なる複数点の作品を収集し、一人の作家の活動を様々な角度から紹介できるよう心がけている。2022年度（令和4年度）も購入19件に加え、作家や所蔵者のご厚意による79件の寄贈により、既存の作家と作品の理解をさらに深めるだけでなく、同時代の作家たちとのコレクションとも共鳴し、展示の多様性を広げる絵画、彫刻、版画等を多数収蔵した。今回の新収蔵品展では新たに収集した98件の中から41点を紹介した。なお同時開催の「コレクション 小さきもの一宇宙／猫」（会期：2023年2月25日～5月21日）においても、新収蔵品12点が展示されているため、会場及び印刷物で周知した。

会 期 2023年3月22日（水）～4月2日（日）11日間
 会 場 美術館ギャラリー
 観覧料金 一般300円、高校・大学生200円、中学生以下無料
 主 催 豊田市美術館

■ 観覧者数 2,155人（1日あたり195人）

展示室入口にて数取器で集計

■ 同時開催

- ・「ねこのほそ道」 展示室1、2、8
 - ・「徳富満——テーブルの上の宇宙」 展示室3
 - ・コレクション展「小さきもの一宇宙／猫」 展示室4、5
- いずれも、2023年2月25日（土）～5月21日（日）に開催

関連事業

【担当学芸員によるギャラリートーク】

実施日：3月25日（土）午前11時～、4月2日（日）午後2時～

会 場：美術館ギャラリー

参加者：3月25日…13人、4月2日…20人（定員：20人、予約不要）

■ 広報事業実績

有料掲載 なし

無料掲載 掲載実績10件（広報依頼 プレスリリース配信510件）

内 訳：フリーペーパー1件、WEB7件、テレビ1件、ラジオ1件

内容別：情報掲載8件、レビュー2件

	媒体	内容	掲載誌名	発行日・公開日	制作会社・出版社
1	リハ°	情報掲載	広報とよた	3月号	豊田市役所(市政発信課)
2	WEB	情報掲載	Aichi-Now	2/8	(株)ピコ・ナレッジ
3	WEB	情報掲載	あいち観光ナビ	2/8	(株)ピコ・ナレッジ

4	WEB	情報掲載	西三河ぐるっとナビ	2/8	(株)ピコ・ナレッジ
5	WEB	情報掲載	WEB版「美術手帖」	3/25	CCC(株)
6	WEB	情報掲載	Live Art Japan アートブログ	3/15	(株)イー・エム・ティー
7	WEB	レビュー	outermostNAGOYA	2/20	井上昇治
8	WEB	レビュー	藝大アートプラザ	4/27	(株)小学館 文化事業局
9	テレビ	情報掲載	とよた NOW	3/23 18:30、21:45、 3/24 5:30、7:00、14:00	ひまわりネットワーク(株)
10	ラジオ	情報掲載	ラジオラヴィート	3/22、17:30～	エフエムとよた(株)

■アンケート

調査日：3月28日（火）～4月2日（日）

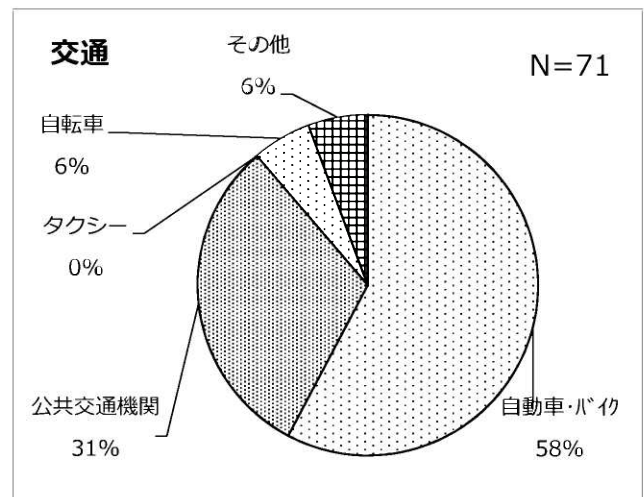
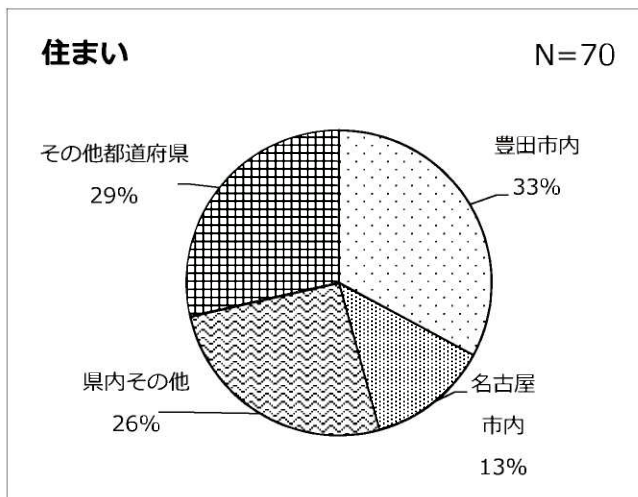
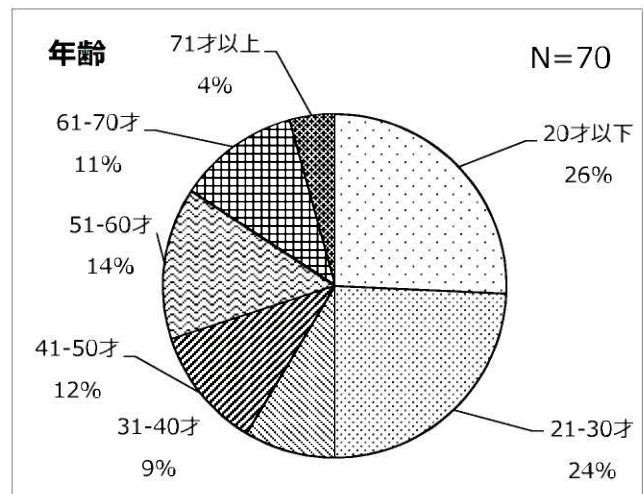
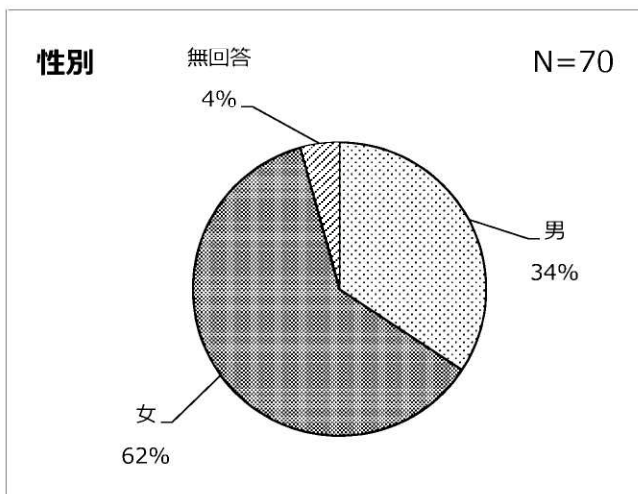
調査場所：ライブラリー前にて紙アンケート記載機を設置し、自由記入。

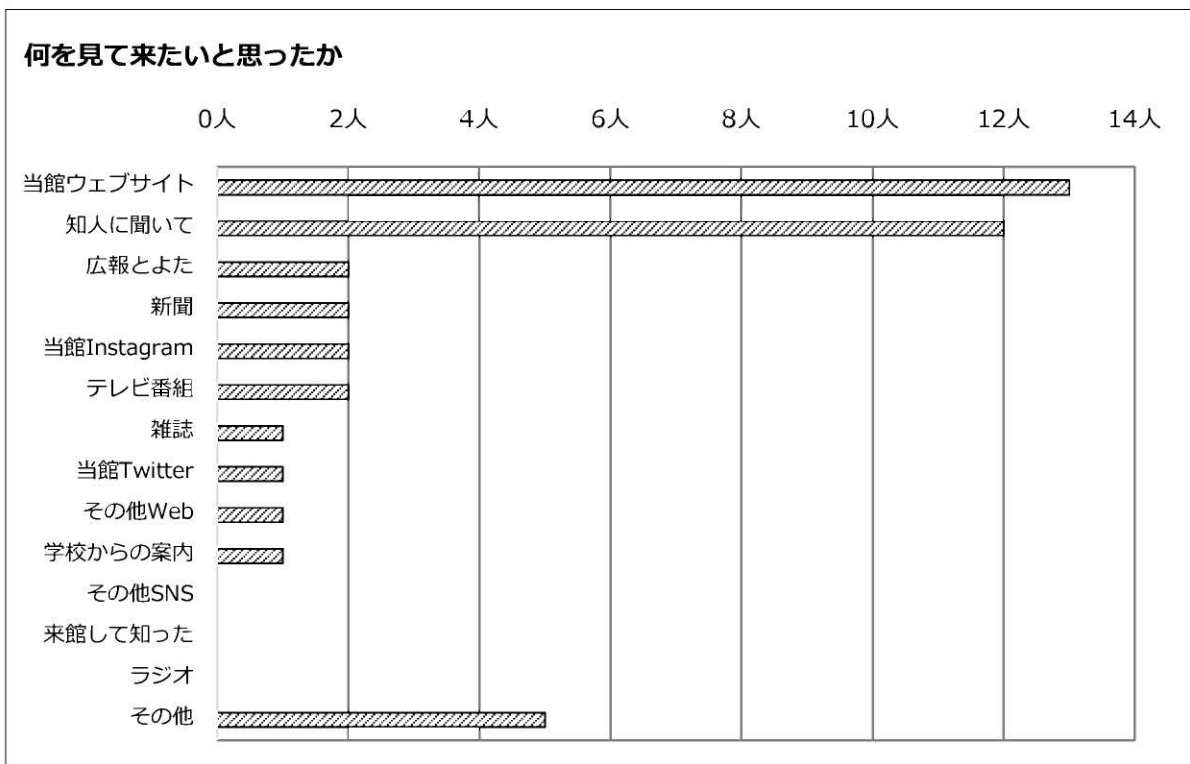
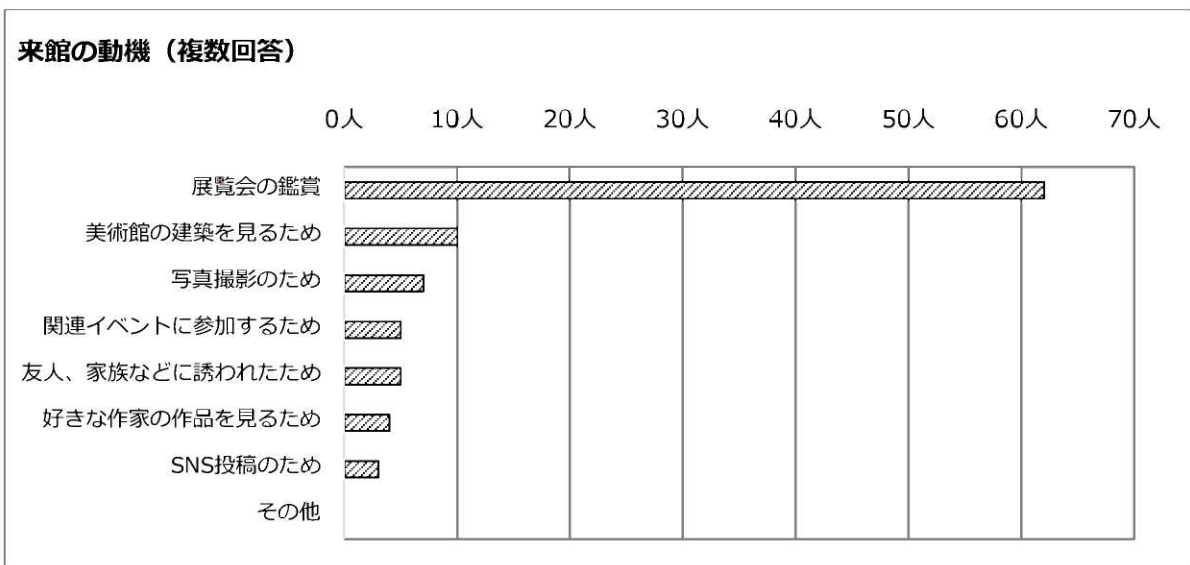
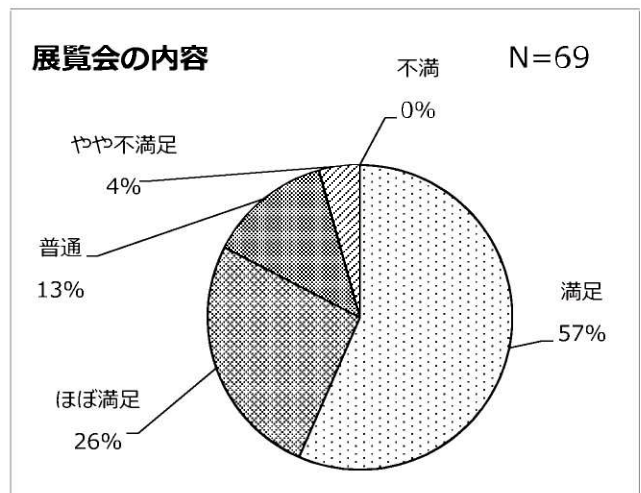
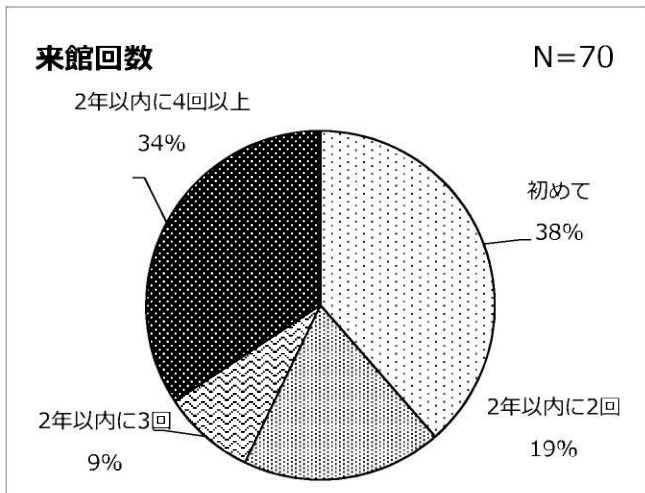
集計枚数：72枚 ※必要サンプル数に達していないので参考として掲載

※「ねこのほそ道」とは別に「新収蔵品展」単体のアンケートとして実施

【アンケート結果より】

- ・おおむね「ねこのほそ道」と同じ傾向を示しているが、特徴的な部分としては「新収蔵品展」の方が豊田市内の観覧者が14%多かった。また、2年以内に4回以上の来館をしている観覧者は10%多かった。





※新収蔵品展においては、ポスター、チラシによる広報は実施しなかった。

■ アンケート（コメント一覧）

建物も好きでゆっくり過ごしています。毎回展覧会楽しみにしています。
今回の展示はどれも素晴らしいものだった。現代アートに向き合うことで自分とも向き合う時間がとても好きなのでとても良い一日になった。また利用したい。
加納作品一度にみられて不思議な経験でした。改めて色彩の美しさと隅々まで緊張感のとぎれない素晴らしい作品群と思います。
想像を掻き立てられる奇妙な作品が好み。いつまでも豊田市美術館を続けてほしい。豊田市の文化芸術のランドマークとして。
ねこのほそ道展を目的に来館したが、新収蔵品展の作品や徳富満展なども楽しんで学びながら観ました。
ずっと行きたかったので行けてよかったです。想像よりもさらにきれいでワクワクしました。
すごかったです。
季節も少しだけ暖かくなり桜も咲いて屋上の池とかもう少ししたらあやめとかきれいになりそうだと思う。館内はいつ来てもきれいでいいものだなあと感じるアートの世界はいつの時も引き付けられる。これから先も年に2, 3回は来たいものだと思っている。
すごくかっこいい作品やかわいらしい作品があっていいと思いました。
一年で収蔵された作品のみなので仕方ないと思いますが、面白くない作品が多かったです。すでにあるコレクションと混ぜて比較したり流れがわかるような展示の方が良かったのではないのでしょうか？
過ごしやすく様々なアートに集中できて楽しいです。
池田知嘉子さんの作品が欲しくなりました。
とても楽しかったです。作品がわかったときちょっとうれしいです。
心に刺さりました。
まともの見たのが初めてで感動でした。
元々、建築を観に訪れたつもりでしたがせっかく来たので展示品も観て回りました。普段、山梨県立美術館によく行っているのですがそことはまた違う雰囲気での展示の仕方をされていて楽しく見られました。モダニズム建築の様子が観て回れたのでとても良かったです。頻繁には来られませんがまた、生きているうちに来たいと思います。
低レベル？
美術館内だけでなく外の桜や建築物がおしゃれ。きれいで良かったです。また来たいです。
建物を含めいつ来ても心が満たされます。今回は特に山村國晶先生の作品を楽しみに来ました。作家さん方々の長い制作過程に思いをめぐらせたりしながら見させていただきました。ありがとうございました。
新収蔵品展の解説で収蔵の際に大切にしたいコンセプトの説明が明解でよかった。さらにその視点を持って作品を見ることによりこの新コレクション群の貴重さを深く感じられる度合いが増しとても良かった。これからも長期的にコレクションが充実していくであろうことがとても楽しみです。
お話を伺ってますます豊田市美術館が好きになりました。ありがとうございました。
ロストジェネレーションと呼ばれる年代の人達の作品を収集しておかないとプロとして彼らが歴史に残らなくなるように思う。アーティストではなくデザイナーと呼んでいる人達はいびつな気がする。
何回来ても新しい知覚が得られるのでこのまま続けてほしい。収蔵品もとてもいいので常設展スペースがもっとあっていい。ルーチョ・フォンタナ・ピエトロ・マンゾーニアとか好きです。